

(12月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年平均	前年実 績	前年比 見込 (%)	5カ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		13,905	98	13,654	64	117	60	4	-	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産の入荷は11月中旬から平年並みに回復。12月も平年並みの入荷見込み。神奈川産は平年よりも生育が1週間程度遅れている。入荷量がまとまるのは12月中旬以降、階級はLと2Lが中心となる見込み。全体の前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
にんじん		10,046	95	9,333	100	120	101	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産の出荷が本格化するのは11月25日以降。平年に比べ小ぶりであることから、入荷量は前年の95%との予想。全体の入荷量は平年を下回り、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
はくさい		14,951	98	15,233	39	108	38	-	-	茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。茨城産は11月下旬から出荷が始まる早生種「なおみ」は生育順調で大玉の仕上がりとなっているが、12月の中旬から出荷が始まる中晩品種は根張り悪く小玉の仕上がり。12月としては前年並みの入荷と予想している。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
ほうれんそう		2,032	100	2,011	367	96	394	-	-	群馬、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。埼玉産は11月下旬から入荷量が増加。12月は株も充実し、入荷量も前年並みと見込まれる。群馬産は11月から平年ベースの出荷が続いている。12月はピークも過ぎることから入荷量は徐々に減りながら推移する見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は高値だった前年を下回る見込み。
キャベツ類		12,845	97	12,774	70	116	76	-	-	千葉、愛知産中心の入荷で全体の約8割を占める。愛知産は10、11月とも入荷量は前年を下回っている。12月も回復の見込みなく、入荷量は前年を下回る見込み。千葉産はピークを過ぎ11月下旬から入荷量が減少。12月も徐々に減りながら推移する見込み。入荷量は前年並みの見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
ねぎ		6,486	105	6,529	258	76	222	101	1.6	千葉、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。千葉産は生育が遅れている。作付けは前年並み。出荷ピークは12月に入ってからとなる見込み。埼玉産は生育も順調で平年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は高値だった前年を大きく下回る見込み。

(12月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5か年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		8,322	98	7,846	183	98	216	-	-	静岡、香川、兵庫産中心の入荷で約6割を占める。静岡産は生育が遅れ気味となっているが、12月には回復する見通し。サイズは2L中心で12月下旬がピークとなる。入荷量は豊作だった前年を下回る見込み。香川産は11月上旬から出荷が始まったが、定植の遅れと11月中旬の降雨が影響し、7～10日の遅れとなっている。12月後半から出荷ピークとなる見込み。兵庫産は品質良好で入荷量も年末に向けて増えてくる見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格も前年を下回る見込み。
きゅうり		4,813	100	4,976	394	107	404	-	-	千葉を中心とする関東産の抑制ものに加え、高知、宮崎などの暖地産が市況をリードする。千葉産は生育順調。作付けも前年並みで入荷量も前年並みとなる見込み。高知産は定植の遅れから7～10日の遅れとなっている。入荷量は11月末から増加し年末がピークとなる見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を上回る見込み。
なす		1,505	98	1,542	411	109	426	-	-	高知産、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。高知産の作付けは前年並みで、樹勢も良好なことから入荷量は前年を上回る見込み。福岡産も作付けは前年並み。急激な冷え込みにより、出荷が前年に比べ2～3週間の遅れている。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		4,561	102	4,866	447	81	414	3	0.1	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。熊本産は前年並みの作付け。11月中旬以降、入荷量が減少しているが、12月は増加に転じるため前年並みの入荷が見込まれる。愛知産も作付けは前年並みで生育も順調。着果も良く、前年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
ピーマン		1,579	95	1,623	366	105	369	-	-	茨城、宮崎産中心で全体の約7割を占める。茨城産は温室栽培が10月中旬から始まったが、天候不順で花落ちが多く、入荷量は前年を下回る見込み。宮崎産は作付けが前年の93%と減少している。11月末から12月上旬にピークがくるが、入荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷は前年を下回り、価格は安値だった前年を上回る見込み。
ばれいしょ		8,094	105	7,459	89	111	102	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産は11月に出荷調整を実施。例年よりも出荷期間を延長し対応。入荷量は前年を上回り、価格も前年を上回る見込み。

(12月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
たまねぎ		10,009	105	10,327	75	100	84	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は計画通りの出荷となる見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格も前年並みとなる見込み。